

平成 27 年 3 月 11 日

東松島復興推進員だより(第 21 号)

～地を往きて走らず～

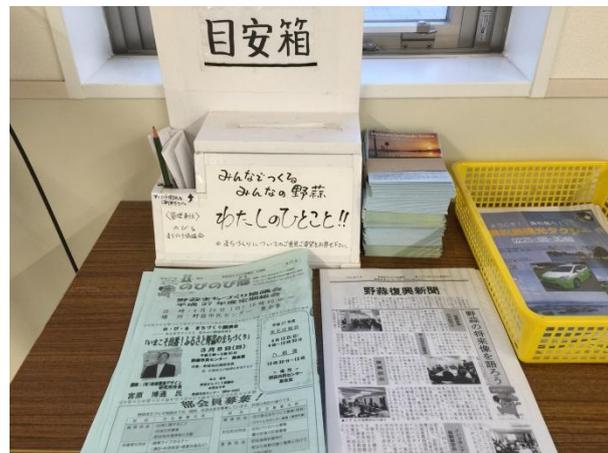
未曾有の大震災から 4 年が経過しました。まだ 4 年。もう 4 年。感じ方は皆さま違うと思います。私個人の想いとしては、まだ 4 年です。さて、本号では、JICA 地域復興推進員(注1)の齊藤弘紀が野蒜地域で行っている活動をご紹介します。

〈野蒜の今を情報発信〉

野蒜地域には現在、住民の方が主体となった会議の場がいくつも設けられています。その中で、大きな組織は2つあります。1つが野蒜地域全体の復興について協議する組織、野蒜まちづくり協議会です。もう1つは、現在、野蒜北部に整備中である高台の移転団地に入居する方で構成され、高台のルールやコミュニティについて検討している、野蒜北部丘陵復興協議会です。私はそれぞれの協議の場に参加し、議事録等の記録を取りながら、市役所担当課と共有しつつ、市民へ分かりやすい形で情報発信を行っています。それが野蒜復興新聞というもので、2012 年 7 月に前地域復興推進員が開始し、毎月 1,200 部(2015 年 3 月現在)発行しており、今月号で第 28 号となります。現在、野蒜地域にお住まいの方や、これまでのお住まいが野蒜地域にあり、現在は仮設住宅やみなし仮設に住まわれている方をはじめ、野蒜の今を知りたいと思われる多くの方にお届けしております。記事内容は、野蒜まちづくり協議会や野蒜北部丘陵復興協議会で協議されている内容をお伝えすると共に、野蒜のことをもっとよく知って欲しいという思いで地域の歴史も掲載しています。今まで住んでいて知らなかった魅力を改めて知ることが出来たという声も聞こえてきました。野蒜の魅力を知った大人たちが、子どもに伝えていく事で、その子どもが地域のことを好きになる。こんな連鎖ができればすごく素敵なことですし、若者流出にも歯止めをかける一手にもなるのでは？と期待しています。



野蒜復興新聞



野蒜市民センターや野蒜地域交流センター(Nまっぷ)にも

※野蒜復興新聞は以下のURLからもダウンロードできます。

<http://www.jica.go.jp/tohoku/enterprise/shinsai/newsletter_02.html>

<東松島市と世界をつなげる橋渡しに>

東松島市と世界とのつながりは、非常に強いものになっています。現在、東松島市は、2004年のスマトラ沖地震・津波の被災地アチェ州の州都バンダアチェ市と「相互復興」を目指して連携をしております。スマトラ沖地震・津波からちょうど10年になる昨年12月、東松島市から復興政策課長をはじめ、市職員の方や一般社団法人東松島みらいとし機構(HOPE)のメンバーが、バンダアチェ市を視察訪問しました。私たちJICA地域復興推進員も、バンダアチェ市の住民コミュニティがこの10年でどのように形成されていったかという調査をしてきました。

その調査報告を2015年1月24日に野蒜市民センターにて実施しました。多くの野蒜地域の住民の方に足を運んでいただき、熱心に聞いていただけたかと思えます。この10年間、バンダアチェ市の住民の方が少しずつ復興の歩みを進めてきた姿をこの報告から想像し、野蒜地域住民の方の1人でも復興への糧にいただければ嬉しく思います。

また、2月4日にはJICA関西が実施している「災害に強いまちづくり戦略」研修の中で、「実際の被災地域を訪ね、住民の声を聞きたい」という要望を踏まえ、東松島市図書館が作成した震災の記録DVD(英語版)を上映した後、私たち推進員2名が、野蒜・宮戸両地域の概況と活動内容について講義を行いました。その後、野蒜地域から住民4名と、宮戸地域より前推進員四倉氏を招き、研修生と共に意見交換を行いました。当日は8か国14名の研修生が参加し、地域住民の方々と熱い議論を交わしていました。



インドネシア バンダ・アチェ市視察報告会の様子



海外研修生と地域住民との交流会

震災から4年経過しましたが、復興はまだまだ続いていきます。これからも JICA 地域復興推進員として、野蒜地域の情報を国内外に発信するお手伝いをしていきます。

【注1】【JICA 地域復興推進員】

JICA が住民主体での復興まちづくりの支援に取り組みために配置している人員です。2014年8月、初代 JICA 地域復興推進員、佐々木潤の業務を引き継ぐ形で齊藤弘紀(さいとうひろき)が、同じく四倉禎一郎の業務を引き継ぐ形で、秋山千恵(あきやまちはる)が新たに着任しました。齊藤は野蒜地域を、秋山は宮戸地域を主担当として地域の市民センターに席をお借りし、地域コミュニティの支援にあたっています。

【推進員だよりバックナンバー：JICA 東北ホームページ】

<http://www.jica.go.jp/tohoku/enterprise/shinsai/index.html>

以上

JICA は、宮城県、東松島市、宮城大学、東松島まちづくり応援団(NPO)等と共同で「地域復興推進員」を通じた震災復興モデル事業を東松島市で行っています。このモデル事業では、早期震災復興につながる”市民協働のまちづくり”を支援することを目指しています。ここで得られた教訓や経験を将来の国際協力に繋ぎます。
